

わたしのきぼうノート作成班

北上市立中央図書館において展示と講座を実施しました。

展示については昨年に引き続き2回目、講座は初の開催。

①展示について

テーマ：「人生の心づもり」

展示期間：2月7日（金）から3月9日（日）

内容：カウンター前にて、若いへの心づもりについての関連本を展示貸出。

今回の展示にあたり、下記3名の方より本の紹介をいただきました。

- ・岩手県立中部病院総合診療科 医師 千田 喜子 様
さっちゃんのまほうのて／田畑 精一
- ・北上済生会病院 総看護師長 高橋 美枝子 様
生きがいの創造／飯田 史彦
- ・地域包括支援センターわっこ 管理者(認定社会福祉士) 竹花 由香 様
70歳のたしなみ／坂東 真理子



②講座について

講座名 : 「わたしのきぼうノート書き方講座」

実施日時 : 2月15日(土) 1回目 10時30分から11時30分

2回目 13時30分から14時30分

内 容 : わたしのきぼうノートの書き方が分からないという方を対象に、館内の会議室で開催したもの。1日2回開催し、延べ17名の参加。

感 想 : 下記のとおり

- ・わかりやすく具体的に書くことができた (80代)
- ・以前のノートを最後まで書くことができずにいたが、また書いてみたいと思うきっかけになった (70代)
- ・定期的にこのような講座を開催してほしい。直接話し、質問できるのが良い。(70代)
- ・困ったときに相談できる一覧のページがあって良い (70代)
- ・考える時間を与えられた (70代)
- ・項目としては書きやすい。家族と書きあうのは難しい。いつどうなるかわからないので最後の時にどうしたらいいのか書いておくこと。それをしまい込まないことが大切だと感じた。子供の世代にも周知していくことも大切。(60代)
- ・市で作っているのも連絡先がわかって良かった。自分の先のことをきちんと考える良い機会となった。(50代)
- ・独居の方で、ノートの存在を共有できる方がいない場合、体調急変時にノートを活かさないことが予想される。簡易的なカードなど医療機関も共有できる方法があればと思う。(30代)

